

1. Windows 用 KVM ユーティリティのインストール

動作対象製品：REX-430UDA、REX-230UDA、REX-430U、REX-230U
 対応 OS：Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Windows 2000
 ※ 64 ビット版にも対応しています。
 ※ Boot Camp や Windows 7 の XP モードなど、仮想 OS での使用はサポートしていません。

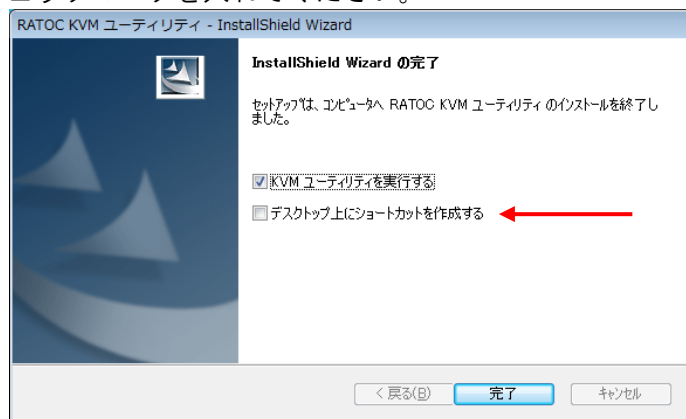
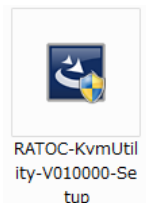
KVM ユーティリティをインストールすると、ホットキー（キーボード）の追加割り当てと、ホットスイッチ（デスクトップ上のスイッチ）のクリックによる切り替えなどが可能となります。
 KVM ユーティリティがインストールされていない状態でも、ホットキーや本体の切替ボタンでの切り替えが可能です。

以下の手順に従って、KVM ユーティリティのインストールをおこなってください。

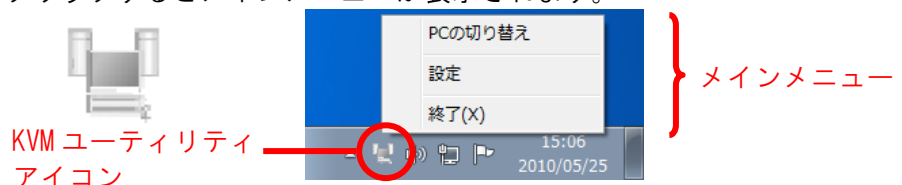
- ※ 使用するすべてのパソコンにインストールする必要があります。
- ※ 実際とは、画面・ファイル名が若干異なる場合があります。

1-1. インストール

- ① 弊社ホームページより KVM ユーティリティをダウンロードします。
- ② [RATOC-KvmUtility-V010000-Setup.exe] をダブルクリックします。
 （システムの設定状態によっては “.exe” が表示されません。）
- ③ 画面の表示に従い、KVM ユーティリティをインストールしてください。
 （ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は [はい] または [続行] をクリックしてください。）
- ④ KVM ユーティリティのショートカットをデスクトップ上に作成する場合は、インストール完了時にチェックマークを入れてください。



- ⑤ KVM ユーティリティが実行されると、タスクトレイにアイコンが登録されます。アイコンを右クリックするとメインメニューが表示されます。



※ KVM ユーティリティをアンインストールする場合は、[コントロールパネル] の [プログラムのアンインストール (Windows XP はプログラムの追加と削除 / Windows 2000 はアプリケーションの追加と削除)] にて [RATOC KVM ユーティリティ] を選択しアンインストールを実行してください。

2. 切り替え方法

切り替え操作は、10 秒以上の間隔をあけて行ってください。

2-1. 切り替えボタンによる切り替え

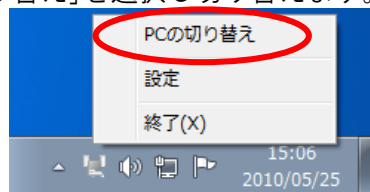
本体にある切替ボタン (SELECT) を押して切り替えます。



※写真は REX-230UDA です。

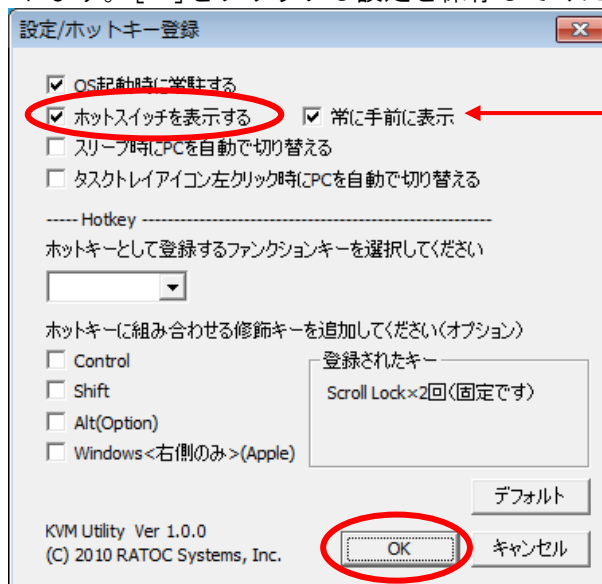
2-2. メインメニューによる切り替え

メインメニューから [PC の切り替え] を選択し切り替えます。



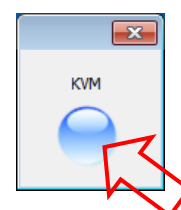
2-3. ホットスイッチによる切り替え

- ① メインメニューから [設定] を開き、[ホットスイッチを表示する] にチェックマークを入れます。 [OK] をクリックし設定を保存してください。



他のウィンドウで [ホットスイッチ] が隠れることがないようにする場合は、[常に手前に表示] にチェックを入れます。

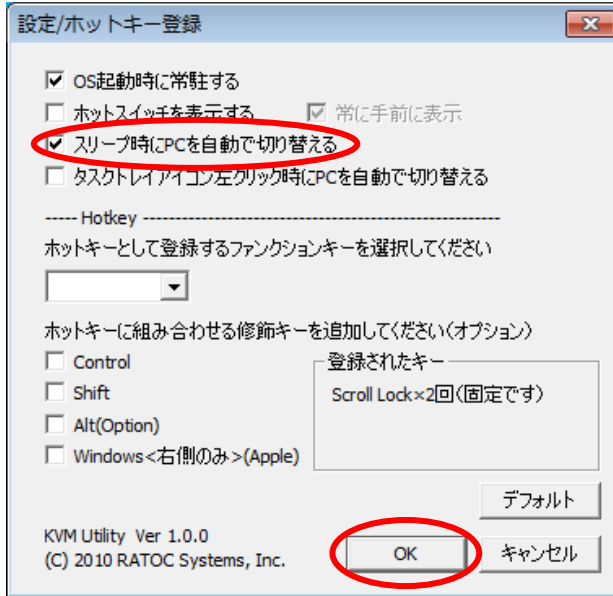
- ② デスクトップに [ホットスイッチパネル] が表示されますので、クリックして切り替えます。



2-4. スリープ時に PC を自動で切り替え

KVM ユーティリティの設定により、スリープ時の自動切り替えが可能となります。

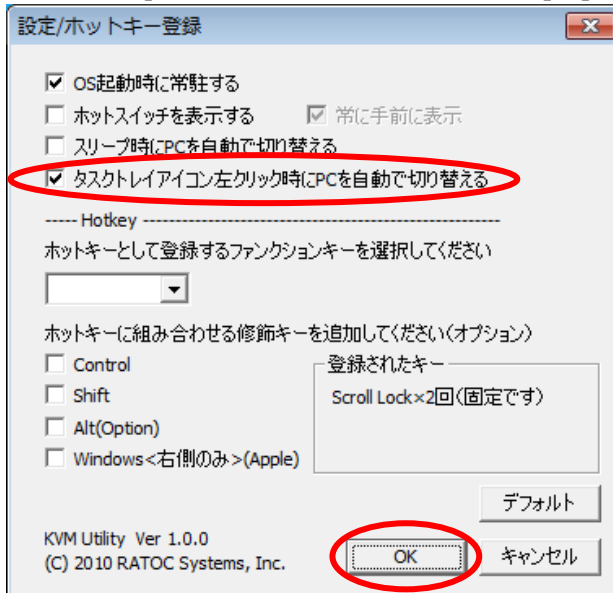
- ① メインメニューから [設定] を開き、[スリープ時に PC を自動で切り替える] にチェックマークを入れます。[OK] をクリックし設定を保存してください。



- ② PC がスリープに入ると、次の PC へ自動的に切り替わります。

2-5. タスクトレイアイコンによる切り替え

- ① メインメニューから [設定] を開き、[タスクトレイアイコン左クリック時に PC を自動で切り替える] にチェックマークを入れます。[OK] をクリックし設定を保存してください。



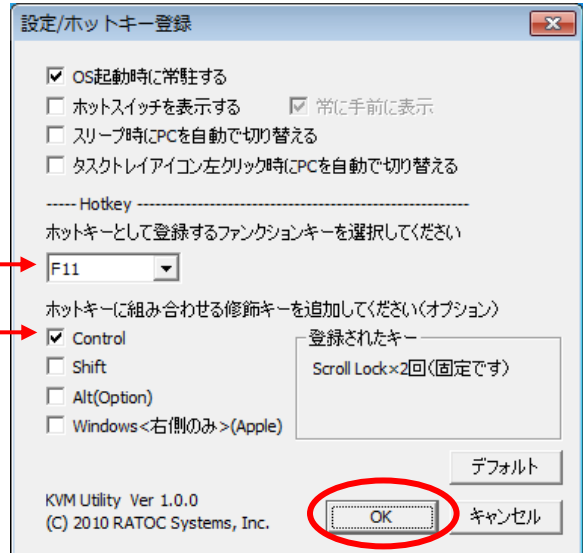
- ② タスクトレイのアイコンをクリックして切り替えます。



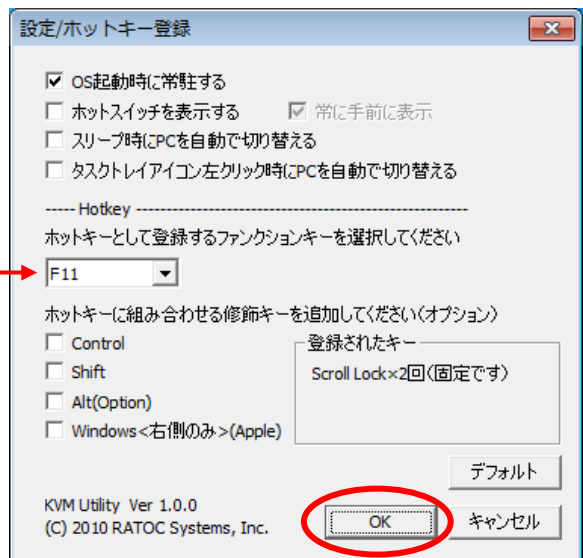
2-6. ホットキーによる切り替え

- ① メインメニューから[設定]を開きます。
- ② ホットキーとして登録するファンクションキー（[F1]～[F12]）と、ホットキーに組み合わせる修飾キーを選択します。[OK]をクリックし設定を保存してください。

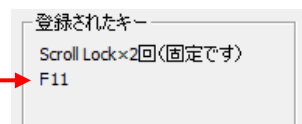
右図では[Ctrl]+[F11]（Controlキーを押しながらF11 キーを押す）に設定しています。



修飾キーと組み合わせず、ファンクションキーのみで登録することも可能です。（右図はF11 キーのみ）



設定保存後、再度メインメニューより[設定]を開くと、登録されたキーを確認することができます。



特定のホットキーが他のアプリケーションで割り当てられているために設定できない場合があります。未割り当てのキーを設定してください。

[Scroll Lock]×2回は固定のホットキーです。設定を削除することはできません。

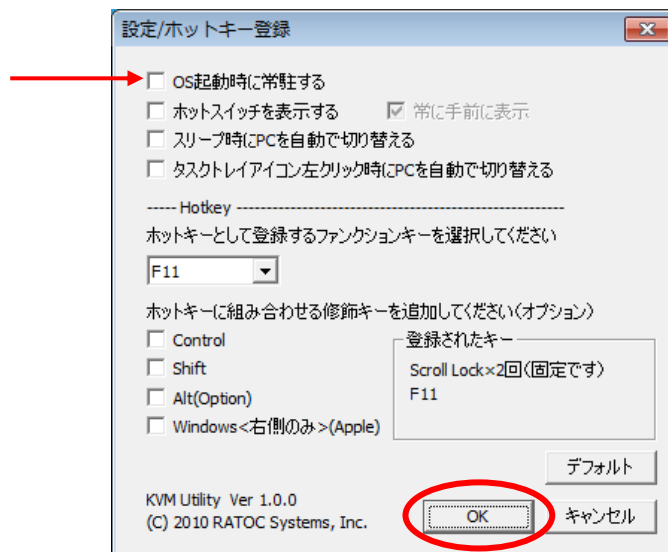
- ③ 登録したホットキーで切り替えをおこないます。

3. KVM ユーティリティの起動と終了

3-1. OS 起動時に常駐させない

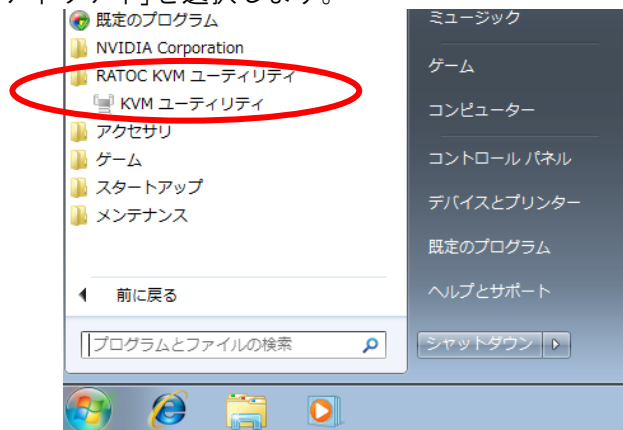
OS 起動時に KVM ユーティリティを自動的に起動させない場合は、以下の手順で設定を変更してください。デフォルト設定は「常駐する」になっています。

- ① メインメニューから[設定]を開き[OS 起動時に常駐する]のチェックマークを外します。
- ② [OK]をクリックし設定を保存します。



3-2. [すべてのプログラム]メニューからの起動

[すべてのプログラム (Windows 2000 はプログラム)]メニューから[RATOC KVM ユーティリティ]—[KVM ユーティリティ]を選択します。



3-3. メインメニューによる終了

メインメニューから[終了]を選択します。

